

やすらぎ

平成23年5月1日
〔第145号〕

発行 御所モロロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

女性クラブ反省会

4月4日、5日は本来なら、伊賀青山ガーデンホテルバーム・ド・夢にて一泊という計画でした。東日本大震災という大惨事、今まで目にした事もない恐ろしい大津波、被災地の方々の事を思う時、「中止した方がよい」という結論に達し、代わりに事務所に於いて4日11時より研修会を持ちました。

始めに1年間の活動の反省点を話し合い、次年度の事業計画とその役割分担を定め、ここまではスムーズにいきましたが、本年は役員の改選の年です。これが難航致しました。

女性クラブ長は2ヶ月毎に奈良県協議会に参加しなければなりません。協議会となりますと、我々高齢者ばかりのスタッフは重荷でございます。他の事務所と異なり、若い人材が不足しておりますので、中々足並みを揃える事が出来ず、はっきり言って付いて行けないのが現状です。なんとか一番若い杉村洋さんに引き受けて貰い、皆で協力し、支え合って、仲良く御所女性クラブの運営を実行して行こうと云う事になりました。

その後ささやかに昼食を取り、我々の住まいする奈良の穏やかで平和な生活、桜の開花を待つそして楽しむ日々感謝し、僅かばかりですが御所事務所女性クラブより被災地に義援金を届けさせて頂く事を会合の最後に決めさせてもらいました。

女性クラブ Y.Y

早春の洛北

(鞍馬寺から貴船神社へ)

春まだ浅い3月27日(日曜日)、橿原神宮前7時23分発の京都行特急に乗り込んだ私たちは、近鉄、京阪、叡山電鉄と乗り継いで鞍馬駅をめざした。今回の参加者は男性4名、女性4名の計8名だ。天気はよいが、外気温は低く空気はひんやりとしている。洛北を走る叡山電鉄は市原駅付近まではのどかな都市近郊の風景だったが、そこを過ぎるとどンドン山の風景に変わり、山岳路線の味わいがある。車窓の目の前に紅葉の枝が伸びていて、秋の『紅葉のトンネル』はさぞ美しかろう。今は桜にはまだ早い木々の新芽もふくらみ、春の気配が充ちている。

鞍馬駅では赤い大天狗の面が私たちを迎えてくれた。記念写真撮影後、少し歩くとすぐに鞍馬寺の仁王門に到着した。俗界から浄界への結



界である仁王門をくぐり、由岐神社を拜んで、九十九折りの山道をゆっくり登る。このあたりは所々にまだ雪が残っている。訪れる人も少なく、ひっそりとした参詣道を進み、ほどなく本殿金堂に到着した。鞍馬寺のご本尊は「尊天」と呼ばれる「宇宙の大霊、大光明、大活動体」だという。そのはたらきは愛と光と力となって現れ、それが千手観音、毘沙門天、護王魔王の姿に具現する。この三身を一体として「尊天」と称するそうだ。



普段なら、神仏に向かって、なにより「家内安全・幸福繁栄」を祈願する私だが、この度は「尊天」様に向かって、東北関東大震災で被災された人々の苦難を一刻も早くお救い下さるようと、ひたすらに祈った。あの未曾有の惨事以来、私の心には空しさがつきまとっている。般若心経の「色即是空、空即是色」が心から離れない。私たち人間は明日をも予測できない。それでも毎日、喜怒哀楽を感じながら懸命に生きるしかない。「冬来たりなば春遠からじ。」被災地にもやがて春が訪れ、人々に安穏が戻ることを祈っている。比叡の山並みを眺めながら、穏やかな早春の光に包まれている有り難さを感じていた。

金堂を辞してしばらく歩くと、義経公背比石があった。1mもないような、案外背の低い石だ。平治の乱で父が敗死した牛若丸は鞍馬寺に預けられ、遮那王と名乗った。遮那王が僧正ヶ谷で剣術修行をし、大天狗から兵法を授かる。遮那王はやがて僧になる事を拒否して鞍馬寺を出奔し、奥州へ向かうが、その時に名残を惜しんで背を比べたのがこの石だという。日本人は義経が好きだと言われるが、私も大の判官贔屓の一人である。

このあたりは高い杉の木が鬱蒼と繁っているが、地下が岩盤であるために土壌が浅く、木の根が露出している。「木の根道」と名付けられたこの道は、神秘的なハイキングコースだ。昨日雪が降ったのだろうか、道には雪が残っていたり氷が薄く張っていたりして、足下が滑りやすいので慎重に足を運んでいるうちに、ほどなく奥の院魔王殿に到着した。ここは650万年前に金星から舞い降りたとされる魔王尊を祭っている。「650万年前」「金星からのエイリアン」など、昔の人たちも想像力豊かに世界を解釈していたのだなあ嬉しくなる。その魔王殿からはひたすら下って貴船へと向かった。

坂を下りきって貴船川沿いに立ち並ぶ料理屋さんを見て、急に空腹を感じ、すぐさま昼食にしようと思った。時刻は12時10分。川沿いのこぢんまりとしたお店「ひろ文」に入り、温かいうどんを所望する。すると、店の主人はどこかへ電話をかけ、オーダーを伝えている。どうやら調理は本館でして、できあがったものをこちらへ運んでくださるようだ。そういえば川の中には、夏の川床料理の座敷を支える支柱が打たれているのが見えるし、川へ降りていくための階段もそこここに作られている。本館で作った料理を道向かいへ運ぶのは、ここ貴船では

日常のここのようだ。店のご主人によると、このあたりの気温は京都市中よりも5℃、川床では更に5℃低いそうだ。昔、エアコンどころか扇風機もなかった時代に、団扇や水うちだけで暑さをしのいでいた市中の人にとって、貴船の川床料理は絶好の納涼馳走だったことだろう。

おいしいうどんに満足したあと、私たちは貴船神社をめざした。貴船は「気生根」と書かれることもあり、大地の「気」の生じる場所なのだという。ご神木の桂の木や同根二本の「相生の杉」、杉と楓が合体した「連理の木」など、



見所がたくさんある。神社には「水占おみくじ」があり、UさんとYさんが早速買ったおみくじを神水に浸し、浮かび上がったご託宣を読んでいらした。貴船神社を後に、私たちは一路、叡山

電鉄貴船口駅をめざし、約2kmの道を軽快に歩いていった。駅到着時点でKさんの万歩計は17,000歩を数え、本日の2万歩クリアは間違いなしとご満悦の様子だ。13時37分発の電車を出町柳へ向かう。

出町柳でそのまま帰路につくには少し早かったので、下賀茂神社へ立ち寄ることにした。洛北の静けさとはうって変わり、市中の神社の境内は参詣する人で結構混んでいる。そこでは白無垢姿の花嫁さんを見た。新しい人生の門出にエールを贈りたくなる。本殿に参拝し、下賀茂神社を辞し、来た道に戻って賀茂川べりに出た。賀茂川は美しく整備されて両岸に遊歩道ができていた。その遊歩道に下り、しばしのおやつ休憩を取る。そして今度は地下鉄に乗車するべく、烏丸今出川駅に向かった。往路とルートを変えてまで歩きたがる、なかなかの強者ぞろいだ。同志社前まで歩いて、地下鉄で京都駅へ戻り、近鉄京都駅16時15分発の急行で帰路についた。

今回の京都洛北ハイキングでは、一日中気温は低めだったが、歩くと身体が温まり、早春の陽光にも恵まれて快適なハイキングだった。夏の富士山以来、久しぶりに皆さんとご一緒できて、楽しい一日でした。有り難うございました。

本田 住子

運営委員会報告

平成23年4月22日20:00より4月度の運営委員会が事務所で開催され、委員15名が出席しました。

吉田代表世話人は「当事務所から東日本震災者救援物資15箱と医薬品を東日本センターへ発送しました。義援金は事務所から10万円、皆さんの志42万余円を送金しました。松浦勝次郎震災対策本部長から礼状が届いています」と挨拶し

ました。

報告事項

1. 4月30日開催予定の代表世話人就退任式に、会員、維持員が30名、来賓6名の出席の返事あり(4月22日現在)、来賓挨拶を近畿ブロック前田部長、県協議会山田会長、4事務所代表葛城事務所異代表世話人に依頼済み。記念品や当日の役割、準備物、会場への手配

済。みなさんのご協力で設営準備してください(スタッフ集合、設営開始16:00から)。

2. 事務所総会を5月10日開催します。
4月22日現在で、出席29名、委任状41通、欠席8名の返事が届いています。平成22年度事業経過報告と会計決算書を全員で確認。5月6日(金)20:00から臨時運営委員会を開催し、平成23年度活動方針、活動計画及び事業計画案と会計予算案を作成、役割の引継ぎを行う。5月9日(月)総会資料づくり。
3. 本部より新刊の維持員ハンドブックが届いています。地区委員が事務所維持員名簿に従い、配布します。
4. 新設 学校担当について、市内各小中学校へニューモラル誌を配布し道徳教育に活用していただく。現在のところ、活動の方向が十分示されておらず検討が必要。
5. 代表世話人委嘱状伝達式が4月9日(土)~10日(日)本部で行なわれ米田さんが出席、受理してきました。維持員原簿は代表世話人が保管。
6. 各クラブ・他

ニューモラル誌が創刊500号を迎えました。学校への配布もあるので購読部数を増やす。

毎月4日の感謝の集いと12日のニューモラル勉強会を有意義なものにするための方法を来月の継続審議とする。

審議事項

1. 平成23年度の事務所役割について、組織図(案)が提案され、承認される。
2. 今年9月開催予定のセミナーを10月以降の開催とし、実行委員長の

選任は、代表世話人に任せる。

3. 伝統の日、感謝の集い柏会場は6月4日(土)5日(日)、中日本会場は6月12日(日)に行われます。参加希望者は5月6日(金)までに富士研修委員長へ申し込むこと。中日本会場への事務所からの団体参加は計画しない。
4. 報恩箱について、投入式耐火金庫を和室へ設置します。本体は壁とボルト締めをする。本体と設置、搬入費で約10万円を承認。

その他

本部、近畿ブロックからの資料をファイルしますので、ご自由にご覧ください。(持ち出しは禁止、コピーは可)

当事務所からの当番者が少ないので、ご協力をお願いします。

吉村孝一さんが事務所会員と維持員を退会、松岡秀尚さんと吉岡能彦さんも維持員退会の申請中です。佐藤美恵子さんは事務所会員退会で、維持員としての所属は奈良県佐藤薬品事務所へ変更されま

編集後記

運営委員会報告でも紹介されていますが、次期代表世話人に広報委員長の米田さんが任命されるようです。

組織も少し変更され広報委員長も新しくなります。

新しい委員長が考える「広報」とは？。

十二年続いた「やすらぎ」何とか続けてほしいものです。

K I N